

リハビリテーションは患者様にとって希望だ！

日時 : 2026.12.3 (木) 19:00~21:00

会場 : 湘陽かしわ台病院 (対面開催 : 相鉄線 かしわ台駅より徒歩約 6 分)

※ご来院の際は公共交通機関をご利用ください

対象 : 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

参加費 : 500 円

定員 : 100 名 (要申込 定員になり次第締め切り)

講師 : 佐藤 太一郎 氏 (国際看護師)

急性期/回復期 担当セラピスト



講師略歴

東海大学医学部附属病院の高度救命救急センターで看護師として経験を積んだ後、国際船看護師として活動。2020 年にはダイヤモンド・プリンセス号で発生した新型コロナウイルス感染症の集団発生に船内看護師として対応。その後、国境なき医師団の看護師としてイラク、イエメン、ハイチ、スーダンなど、世界各地の紛争地や医療資源の限られた地域で緊急医療支援に従事される。

講演内容

世界の医療現場で多くの命を支えてきた佐藤氏が、ある日突然、支えられる側になりました。

自身の脳梗塞発症により、今度は患者としてリハビリテーションを経験。突然の身体機能の変化や将来への不安に直面し、回復する自分の姿を思い描くことさえできず、当時は深い絶望を感じていたといいます。

そのような中、急性期から回復期、そして退院後に至るまで、各時期で出会ったセラピストの存在が佐藤氏を支え、回復への道しるべとなりました。専門的な介入や日々の関わりは、身体機能の回復だけでなく、精神的な支えとなり、再び自分らしい人生を歩み出す希望へとつながっていきました。

今年度は、脳梗塞を経験した佐藤氏と、佐藤氏のリハビリテーションに関わったセラピストをお招きし、対談形式で進行いたします。当時、患者は何を感じ、セラピストはどのような意図を持って関わっていたのか。回復過程での印象的なエピソードや、今だからこそ語れる想いを双方の視点から振り返り、どのように届いていたのかを考えていきます。

セラピストの皆様が日々行っているリハビリテーションは、患者様にとってどのような意味を持つのでしょうか。ぜひ、この機会に患者様の希望を支えるセラピストの役割や、リハビリテーションが持つ可能性について、改めて考えていただけたらと思います。

主催 : 県央地区リハビリテーション連絡会 協賛 : 厚木医療福祉連絡会

問い合わせ先 : kentaro103130423@gmail.com (東名厚木病院 リハビリテーション科 橋本 健太郎 宛)

お申込み : 右記 QR コードよりお願い致します。→



※QR コードが読み込めない場合は、以下のアドレスよりアクセスをお願いします。

<https://docs.google.com/forms/d/11F2jxjlhjzofvqa1NzqdEOHoEuEbLGhx4CKAOuMjhsE/>